

Market Report

2024年3月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

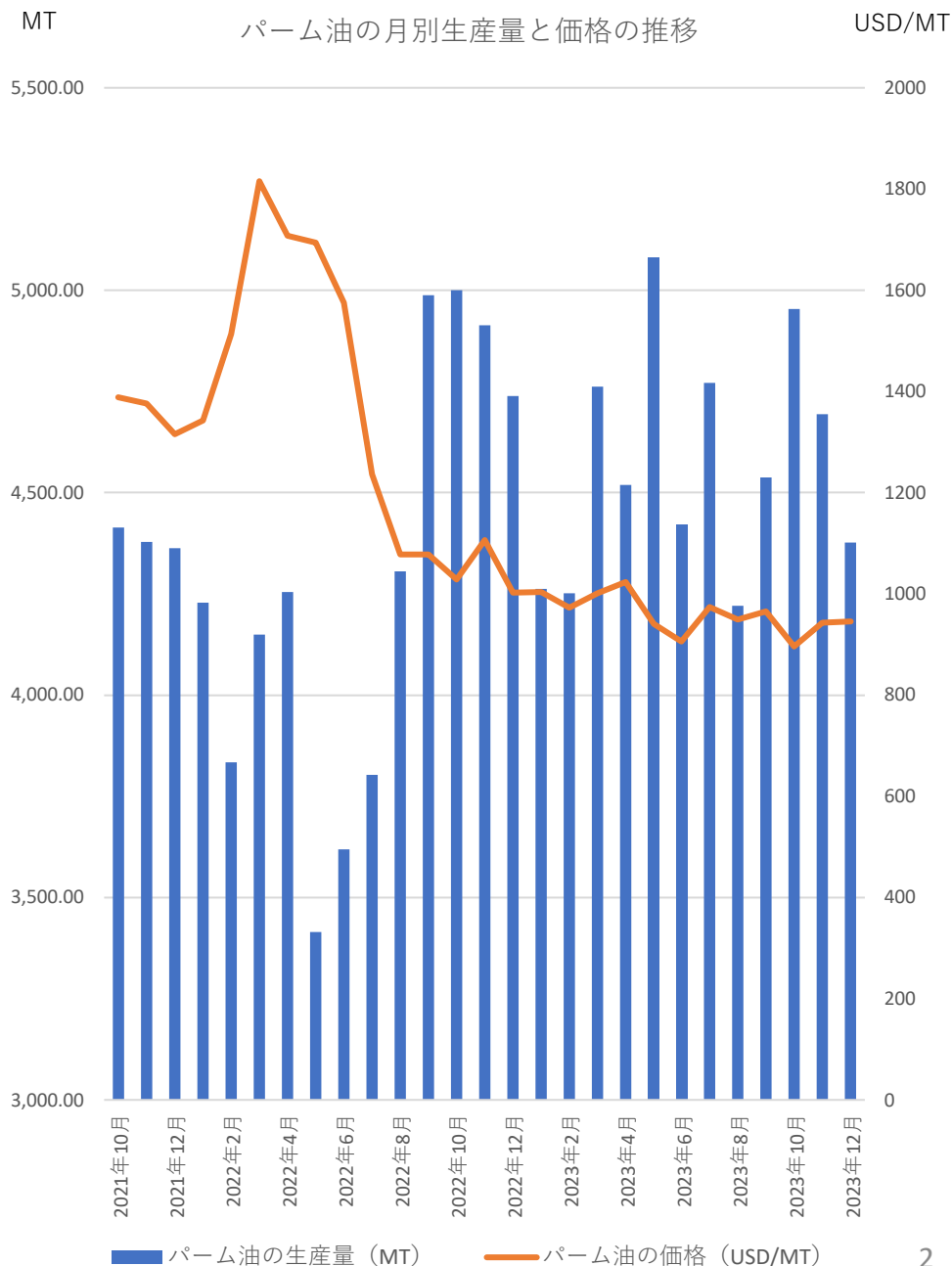
1. 実績

2024年1月のFFB価格は、2023年12月のFFB価格に比べて様々な州で価格変動があった。FFBの最高価格は2,520.67Rp/kgのリアウ州で、最低価格は1,798.11Rp/kgの西パプア州であった。

CPOの平均価格は2024年1月の11,790.44 Rp/kgと比較して2024年2月は11,857.63 Rp/kgと67.18 Rp/kg上昇した。一方2023年2月のCPO平均価格12,110.40 Rp/kgと比較すると252.78 Rp/kg減少した。

2. 見通し

3月は、ラマダーンの時期に入ったことで、FFBとCPOの生産量は低下すると想定される。最近のCPO市場は、突発的なイベントや政府政策の突然の変更に対して脆弱であることから、大幅な価格変動を引き起こす可能性があると考えられる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年1月のインドネシアのPKS輸出量は389,881.360トンで、463,605.032トンと記録された12月の輸出量と比較すると73,723.672トン、約15.90%減少した。また、2024年1月のPKS輸出額はUSD 45,298,459を記録した。また、2023年1月のPKS輸出量489,009.975トン、輸出額USD 54,309,344と比較すると輸出量は99,128.615トン、輸出額はUSD 9,010,885の減少が記録された。

2024年1月最大の輸出先は日本であり、輸出量は363,283.612トン、外貨換算額は42,719,347 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約93%を占める）

2. 見通し

2024年3月はラマダーンの影響でFFBとCPOの生産量は減少し、PKSの価格は高騰すると考えられる。

